



S.Naka

## THE HEIAN STAKES

## 第32回 平安ステークス (GIII)

1着 本賞 38,000,000円 付加賞 567,000円  
2着 15,000,000円 162,000円  
3着 9,500,000円 81,000円  
4着 5,700,000円  
5着 3,800,000円



レース映像は  
コチラでご覧  
いただけます。

4歳以上 除未出走馬および未勝利馬

負担重量 57kg、牝馬2kg減、2024.5.18以降G I競走(牝馬限定競走を除く)1着馬2kg増、牝馬限定G I

競走またはG II競走(牝馬限定競走を除く)1着馬1kg増、2024.5.17以前のG I競走(牝馬限定競走を除く)1

着馬1kg増(ただし2歳時の成績を除く)

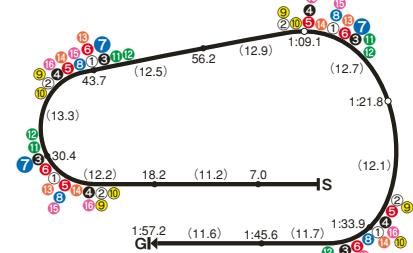
2025.5.24 京都 雨・稍重 ダ1900m (国際 指定)

順位	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム (着差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑦	アウトレンジ	牡5	58	松山弘平	1:57.2	3-3-3-3	35.1	490(-3)	6.04	大久保龍志(栗東)	112
2	⑥	ロードクロンス	牡4	57	藤岡佑介	1½	5-5-5-6	35.2	490(+10)	4.72	四位洋文(栗東)	108
3	⑫	レヴォンタウレット	牡4	57	鮫島克俊	アマ	1-1-1-1	35.6	490(-2)	43.40	矢作芳人(栗東)	108
4	⑬	ジンセイ	牡4	57	川田将雅	½	6-5-5-3	35.3	512(+2)	6.16	庄野靖志(栗東)	107
5	⑯	タイトニット	牡5	57	坂井瑠星	クビ	8-8-7-6	35.1	556(-8)	12.77	今野貞一(栗東)	107
6	①	テオードレフォン	牡6	57	アジュアルケ	1½	6-5-7-9	35.5	502(-2)	10.16	梅田智之(栗東)	106
7	④	メイショウハリオ	牡8	59	浜中 後	ハナ	12-12-11-11	35.2	508(+9)	5.53	岡田智男(栗東)	106
8	⑪	マーブルロック	牡5	57	武 豊	2½	2-2-2-2	36.3	524(+4)	20.38	西園正都(栗東)	105
9	⑧	ブライアンセンス	牡5	57	岩田将望	クビ	8-8-7-8	35.9	514(±0)	4.71	斎藤 誠(美浦)	105
10	⑤	ルクスフロンティア	牡5	57	岩田康誠	1%	8-10-11-14	36.0	498(+6)	40.29	松永幹夫(栗東)	104
11	②	スレイマン	牡7	57	北村友一	クビ	14-14-15-15	35.7	546(+4)	129.50	池添 学(栗東)	103
12	⑨	カンビオーネ	牡6	57	高杉利樹	½	14-15-15-15	35.7	512(+2)	111.60	栗田 徹(美浦)	103
13	⑩	ペブチドソレイユ	牡5	57	古川吉洋	½	16-16-14-11	36.1	486(-6)	258.00	武 英智(栗東)	102
14	⑯	パリハーダル	牡6	57	田口貴太	クビ	12-12-11-11	36.2	514(+2)	184.16	池江泰寿(栗東)	102
15	⑭	ライオットガール	牝5	55	吉村誠之助	¾	11-10-10-9	36.4	482(+9)	145.40	中村直也(栗東)	101
16	③	マイクアーリーブ	牡6	57	幸 英明	1	3-3-3-3	36.9	494(-6)	81.60	大根田裕之(栗東)	101

単勝700円(4%) 複勝7240円(4%) 6200円(2%) 12920円(10%) 枠連3-4-600円(1%)

馬連6-7-1,570円(6%) ワイド6-7-730円(8%) 7-8-4,480円(38%) 6-12-2,860円(30%)

馬単6-7-6,180円(11%) 3連複6-7-8-220,600円(61%) 3連単7-6-12-83,590円(273%)



通過タイム : 700m 900m 1100m 上り : 800m 600m  
43.7 - 56.2 - 1:09.1 48.1 - 35.4

### アラカルト

- 松山弘平騎手はミトノオーで制した24年に続く平安S 3勝目。JRA重賞は本年3勝目、通算51勝目
- 大久保龍志調教師はグロリアムンディで制した23年に続く平安S 4勝目で、自身の持つ歴代最多勝記録を更新。JRA重賞は本年初勝利、通算26勝目
- レガーロ産駒はJRA重賞初制覇
- 5歳馬の勝利は23年グロリアムンディに続く通算12回目
- 非抽選馬 2頭(サイモンブーケ、ゼットリアン)

# アウトレンジ *Outrange*

牡 鹿毛 2020.4.4生  
北海道新冠町 株式会社ノースヒルズ生産  
馬主・寺田寿男氏 栗東・大久保龍志厩舎  
馬名意味・アウトレンジ戦法より

カリフォルニアネクターUSA系 F4-d		
レガーロ 鹿毛 2013	Bernardini 鹿毛 2003	A.P.Indy
		Cara Rafaela
クイーンパイレーツ 黒鹿毛 2014	サンタテレジータUSA 鹿毛 2004	Lemon Drop Kid
		Sweet Gold
キングカメハメハ 鹿毛 2001		Kingmambo
		マンファSIRE
	カリフォルニアネクターUSA 鹿毛 2008	Stormy Atlantic
		Absolute Nectar

5代までのインブリード: Kingmambo M3×S4 Seattle Slew S4×S5×M5  
Mr.Prospector M4×S5×M5 Lassie Dear S5×S5

## INTERVIEW

齋藤慎ディレクター(大山ヒルズ・育成)

### 素直で乗りやすい優等生でした

こちらに来たのが2歳になってからと少し遅かったですが、古馬になってから良くなるだろうと思っていました。兄のハビは少しやんちゃな馬でしたが、アウトレンジは馬っぴりが良く、性格も素直で乗りやすい優等生でした。いまのダート界には海外でも活躍するような強い馬がたくさんいますが、アウトレンジもいざそれと一緒に続くような活躍を見せてほしいと思います。



“親孝行”に結びつけたい。  
牡 鹿毛 2020.4.4生  
北海道新冠町 株式会社ノースヒルズ生産  
馬主・寺田寿男氏 栗東・大久保龍志厩舎  
馬名意味・アウトレンジ戦法より  
(血統登録頭数は2頭)の1頭で、JR  
Aに在籍する現役馬は本馬のみ。手中  
に収めた2つめの勲章をさらに大きくな

### 父レガーロ

北海道千歳市 社台ファーム生産 中央、地方12戦2勝(全日本2歳優駿Jn. I 2着、レバードS GIII 3着)、19年から供用

〔代表産駒〕アウトレンジ(本馬)

### 母クイーンパイレーツ

北海道芦別市 ノーザンファーム生産 中央1戦0勝、24年死亡

ハビ(19 牡父キズナ)中央20戦3勝(鳳雛S・L、平安S GIII 2着、シリウスS GIII 2着、ペテルギウスS・L 2着、チャンピオンズC GIII 3着、新潟大賞典GIII 3着、レバードS GIII 3着)、地方1戦0勝(⑨)

アウトレンジ 本馬(20 牡父レガーロ)中央12戦6勝(平安S GIII、ラジオ日本賞⑩、梅田S、みやこS GIII 2着)、地方3戦1勝(浦和記念Jn. II)

獲得総賞金165,495,000円

リトルハビ(21 牡父キズナ)中央3戦3勝(⑨)

クイーンハビ(22 牡父キズナ)中央1戦0勝(⑨)

(23 不受胎)

(24 牡父コントレイル)

### 祖母カリフォルニアネクターUSA

北米5勝(サンタイネスS G2、カリフォルニアブリーダーズチャンピオンS、ビヴァリーJルイスS、バレンタインダンサーS 2着、ハーヴェストS 2着、カリフォルニアカップジュベナイルフィリーズS 2着、キャットクレイドルS 3着)、12年輸入

ダノンアイリス(13 牡父Arch)持込 中央4勝(郡山特別)

クイーンパイレーツ(14 前出)

ダノンフォワード(15 牡父オルフェーヴル)中央2勝、地方3勝

ミュアウッズ(17 牡父ダイワメジャー)中央1勝、地方0勝

### 曾祖母アブソリュートネクター Absolute Nectar

アメリカ産 北米3勝(バレッツデビュータントS 3着、ミスウッドフォードS 3着、トレントンS 3着)

### カリフォルニアネクターUSA(08 前出)

スイートネクター Sweet Nectar(09 牡父Atticus)北米3勝

スターロッカ Star Rocker(10 牡父Atticus)北米5勝(カリフォルニアカップジュベナイルS 3着)

レッドスタート Redstart(12 牡父Blame)北米2勝(クイーンシティオースクス)

ハーリーハニー Harlee Honey(13 牡父Harlan's Holiday)北米2勝、ブ

ラックフォーザ Black Forza(リッチモンドS・英G2)の母

## 希少な血を持つ5歳馬が混戦に断

帝王賞の前哨戦と位置付けられている平安Sには、前走の川崎記念で復活の勝利を飾ったメイショウハリオが参戦。もっとも、Iを4勝と実績的には断然の存在ながら、59kgの斤量を背負う8歳馬は3番人気の評価にとどまり、マークSの覇者、ブライアンセンスと同3着のロードクロンヌが、同じオッズ(単勝4・7倍)で1、2番人気を分けた。上位拮抗の様相を呈したレースを制したのは4番人気のアウトレンジ。希少な血を持つ5歳馬が重賞2勝目を挙げ、上半期のダート中距離王決定戦に名乗りをあげた。

未勝利戦から4連勝を飾つてオープン入り、今回が昇級2戦目となる新星

逃げるレヴォントウレットに2番手のマークブルロックが並びかけた4コーナー。あわせて追撃にかかり、前の2頭に迫った松山騎手は、直線に向くと内ラチ沿いで逃げ粘るレヴォントウレットをかわして先頭に躍り出る。ラスト2つのフットは11秒7—11秒6。前々で運び、最後までじっかり伸びたアウトレンジが、外へ持ち出して追い込んだロードクロンヌ以下の反撃を完封し、ゴールに飛び込んだ。

昨秋の浦和記念で重賞初制覇を果たした後、名古屋大賞典は7着、ダイオライト記念も6着に終わった本馬だが、2カ月余りの休養を挟み、態勢を立て直されて臨んだこの日は中央の軽いダートで鮮やかに巻き返した。寺田寿男オーナーの所有馬として競走生活を送った父レガーロの希少な初年度産駒

レヴォントウレットが意欲的に飛び出して先手を奪取。朝から降り続く雨のもと、軽いダート(稍重)にゆつたりとしたラップを刻んでレースを引っ張る。アウトレンジの松山弘平騎手は3番手の外につけ、ロードクロンヌがそのまま後を追走。ブライアンセンスは中団スタートで少し後手を踏んだメイショウハリオは後方で脚を溜め、反撃のタイミングを窺つた。